

<量刑誤判～死刑を言い渡すべきではなかった事件について死刑を言い渡す場合>

死刑の明確な量刑基準がないわが国の刑事裁判においては、死刑求刑事件において、第一審判決の判断の間でも、第一審と控訴審の判断の間でも、相当のばらつきがある。そのことは、潜在的な量刑誤判の可能性が相当程度存在していることを示唆している。

死刑求刑事件についての判決内容等（最高裁判所が公表している統計資料による）

(人)

	【第一審】 求刑：死刑		【第一審】 判決：死刑		【第一審】 判決：無期懲役
	【第一審】 判決：死刑	【第一審】 判決：無期懲役	【控訴審】 判決：死刑 (控訴棄却)	【控訴審】 判決：無期懲役	【控訴審】 判決：死刑
1976(昭和51)	4	8	4	1	
1977(昭和52)	9	6	5	1	1
1978(昭和53)	6	7	1	1	1
1979(昭和54)	7	5	2	2	1
1980(昭和55)	9	6	4		1
1981(昭和56)	2	2	2	2	
1982(昭和57)	11	4	10	3	
1983(昭和58)	5	8	3	2	1
1984(昭和59)	6	4	7	1	
1985(昭和60)	9	4	4	2	1
1986(昭和61)	5	1	7	1	
1987(昭和62)	6	3	8		
1988(昭和63)	10	7	4		
1989(平成1)	2	2	4		1
1990(平成2)	2	2	3	2	
1991(平成3)	3	3	4	1	
1992(平成4)	1	5	3		1
1993(平成5)	4	1	1	1	
1994(平成6)	8	2	4		
1995(平成7)	11	5	3	2	1
1996(平成8)	1	7	3	1	
1997(平成9)	3	3	2	1	
1998(平成10)	7	3	7		
1999(平成11)	8	9	3		1
2000(平成12)	14	5	4		2
2001(平成13)	10	10	12	1	3
2002(平成14)	18	9	3		1
2003(平成15)	13	10	17	3	
2004(平成16)	14	10	11	1	4
2005(平成17)	13	10	11	2	3
2006(平成18)	13	8	13	2	3
2007(平成19)	14	6	13	1	1
2008(平成20)	5	6	12		2
2009(平成21)	9	6	7	1	2
2010(平成22)	4	4	2		1
2011(平成23)	10	3	2	1	
2012(平成24)	3	3	5		
2013(平成25)	5	1	3	2	
2014(平成26)	2		8	1	
2015(平成27)	4		1		
2016(平成28)	3	4	4		
2017(平成29)	3			2	
2018(平成30)	4	4	2		
2019(令和1)	2	3	3	1	
2020(令和2)	3			1	
合計	305	209	231	42	32
年平均	6.93	4.75	5.25	0.95	0.73

上記一覧表は、1976年から2020年までの、①第一審・死刑求刑の事件における死刑判決及び無期懲役の判決数、②第一審・死刑判決の事件における控訴審での死刑判決及び無期懲役の判決数、③第一審・無期懲役で控訴審で死刑判決が言い渡された判決数、をまとめたもの。

これによると、死刑求刑事件の内、第一審で死刑を言い渡された事件は305件で無期懲役を言い渡された事件は209件、第一審で死刑を言い渡された事件の内、控訴審でも死刑が言い渡された事件は231件で、無期懲役となった事件は42件、第一審が無期懲役で控訴審が死刑判決であった事件は32件となっている。